講座概要、お持ちもの等連絡事項

（聖徳大学免許法認定公開講座）

令和７年度 夏期　開設科目	担当講師
幼児と環境	聖徳大学兼任講師　井口　厚子

【概要】
領域「環境」の指導に関する、幼児を取り巻く環境や幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養う。具体的には、幼児を取り巻く環境の諸側面と幼児の発達におけるそれらの重要性を踏まえ、環境のもつ教材性と幼児と環境の関わりを考慮し、具体的指導を考える。また、乳幼児期の思考・科学的概念の発達の理解、幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりの発達を理解し、指導内容、環境の構成を具体的に学ぶ。さらに、知識基盤型社会及び持続可能な開発のための教育（ESD）など幼児を取り巻く環境の現代的課題について理解する。

【教科書】
文部科学省『幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月』フレーベル館　264 円

【連絡事項】
授業内レポート（試験）を実施予定。

算数科教育法	聖徳大学教授　黒澤　寿美

【概要】
本講座は、小学校算数科教育の目的及び内容等について、数学の理論的な知識と実際に活用できる専門性を養うことを目的とする。算数の授業を行うにあたって、教師が算数の指導内容の数学的意味を理解しておくことは重要である。そこで、講義の中で五領域「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の重点内容と指導方法を具体的事例を通して学ぶとともに、数学的背景や、数学的な見方や考え方の育成を促す数学的活動についても考察する。 また、実際に教具を作ってみることで、数学的活動のアイデアを広げ、実践力を身につける。

【連絡事項】
はさみ、セロテープ、のり、マジック等（教材を作るため）持参。教科書は使用せず、当日、資料を配付。授業内レポート（試験）を実施予定。

理科教育法　　聖徳大学兼任講師　渡部 洋史

【概要】
小学校学習指導要領理科における改訂の要点ならびに教材等の理解を深めることを主なねらいとする。小学校理科の授業を展開するにあたっては、児童が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決していくという授業の構成が重要である。そして、この構成に沿った授業展開が、学習指導要領理科が目指す資質・能力の育成につながるものである。そこで、次の事項を重点にして講義と教材研究を展開していく。①観察・実験の具体的事例研究　②課題解決型の学習事例研究　③実験器具の取り扱い方法　④ＩＣＴ機器の活用方法　⑤安全指導と事故防止など。

【教科書】
文部科学省『小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　理科編』東京書籍　208 円
※文部科学省のＨＰからもＰＤＦ資料でダウンロードすることができます。

【連絡事項】
教材研究として実験や工作を行います。ＩＣＴ機器を用いた授業展開を体験（ＢＹＯＤ)するため、スマートフォンやｉＰａｄ、ノートＰＣなどがあればご用意ください。
授業内レポート（試験）を実施予定。

保育内容指導法Ⅱ（環境）　　聖徳大学短期大学部教授　古川 由紀子

【概要】
幼稚園教育要領の基本理念をふまえ、幼児の発達を促し遊びや生活を支える内容について保育内容「環境」の視点から、理論的・実践的な理解にむけて学ぶ。また、指導法上の留意点等について把握する。その際、幼稚園教育において育みたい資質・能力（「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」）と関連付けながら考察する。講義内容は、保育内容の意味や構造、保育環境、幼児の好奇心や探究心、直接体験としての自然へのかかわり、指導の実際や配慮事項等について検討する。

【教科書】
文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成 30 年 3 月』フレーベル館 264 円

【連絡事項】
後日提出レポートを実施予定。

保育内容指導法Ⅲ（*音楽表現*）　　聖徳大学准教授　関口　明子

【概要】
本講座は、子どもたちが主体的に取り組む音楽活動を支える保育者の関わりについて考察することを基盤とする。幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「表現」におけるポイントについて学ぶ。さらに他領域との関係、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関係、幼小連携から見た音楽活動の在り方について、事例、写真、映像等を媒体にアクティブラーニングを行う。音遊び、手遊び、歌唱指導、わらべうた、楽器遊び、リトミック、音楽鑑賞の指導法における理論と実践についても触れる。

【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。後日提出レポートを実施予定。

保育内容指導法Ⅲ（*造形表現*）　聖徳大学短期大学部准教授　北沢　昌代

【概要】
幼児の造形表現と鑑賞に関する基礎的な知識・理解・技能の習得と、実践力向上を目標にしている。講座は、造形表現と鑑賞の意義、目的、手法について、演習とアクティブラーニングを交えながら学び、受講者が現場で活用できるように進める。また、幼児の造形表現は、全身の感覚の発達をねらいとして身体的な活動として行われることが基本であり、現代社会における AI の飛躍的な進化に即して ICT なども活用した事例や工夫についても紹介し、これからの保育のあり方について受講者とともに考える。

【教科書】
北沢昌代・畠山智宏・中村光絵　著『子どもの造形表現 ―ワークシートで学ぶ― 第３版』開成出版 3,190 円

【連絡事項】
水彩絵具（１２色チューブ入り）、筆、パレット、筆洗バケツ、クレヨン、色鉛筆、マーカー、はさみ、
のり（スティックのり）、カッター、定規（３０ｃｍ）、デジタルカメラ（スマートフォンも可）。後日提出レポートを実施予定。

教職入門　聖徳大学大学院教授　山崎　奈々絵

【概要】
本講座を通して、教職の意義、役割、職務内容を整理していきたい。その際、チーム学校運営や令和型学校教育といった現代の政策課題と現場での課題についても再検討し、新たな知見を得て今後の実践力につなげてほしい。
授業は講義形式だが、ディスカッションやグループワークなども行う予定である。主体的に学んでほしい。

【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。授業内レポート（試験）を実施予定。

教育社会学　聖徳大学准教授　上田 智子

【概要】
「教育」「保育」「子育て」を社会の中に位置付け、教育問題、教育政策、その他教育現象について社会との関連で分析・考察する。具体的には、以下のテーマを取り上げるが、受講生の興味関心もできる限り反映したい。①子どもの社会化のあり方やその担い手が社会の変化とともにどう変遷してきたか。②学校の選抜配分機能とは何か、その機能において現在課題となっていることは何か（格差社会と教育、貧困と保育）。③ジェンダーと教育について、現状と課題はどのようなものか。④教育から職業への移行について、現状と課題はどのようなものか。⑤学校と地域との連携はいかになされるべきか。⑥学校の安全への対応について現状と課題は何か。基本的には、講義形式で進行するが、アクティブラーニングも積極的に取り入れていきたい。
【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。授業内レポート（試験）を実施予定。

特別支援教育総論

聖徳大学教授　東原 文子

【概要】
本講座では、以下の 3 点を扱う。1. 特別支援教育に関する制度や仕組みに関する知識を修得する。2. 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由等を含む様々な障害のある幼児、児童、及び生徒の学習上や生活上の困難とそれを軽減する方法について、実際の指導場面の映像などを通して学ぶ。3. 主に通常の学級に在籍する特別の支援を必要とする幼児、児童、及び生徒に対する支援や配慮の方法、対象児を含むクラス全体への指導計画を考えることで実践に活かせるよう理解を深める（母国語の問題等、障害以外のニーズを含む）。

【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。授業内レポート（試験）を実施予定。

教育課程論

聖徳大学大学院准教授　福野　裕美

【概要】
学校における授業やその他の諸活動は、すべて計画的に組織されている。日本では学習指導要領を基準として、各学校で教育課程が編成されている。本講座では、戦後の学習指導要領の変遷を振り返り、教育課程の意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解する。また、現在実施されている教育課程や学習指導要領の概要と意義をつかみ、授業づくりの基礎を学ぶ。

【教科書】
田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵著『新しい時代の教育課程〔第 5 版〕』有斐閣　2,200 円

【連絡事項】
授業内レポート（試験）を実施予定。

教育方法学

聖徳大学教授　小野瀬 雅人

【概要】
本講座は、教職課程コアカリキュラム「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」に対応する。そのため、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するうえで必要な、教育の方法、指導の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けることを目標としている。具体的には、子どもにとって「わかる」「おもしろい」授業をどう実現するかについて、教育心理学や教育工学の知見に基づき講義を行う。主な内容は次のとおり。
① 学習を支える認知や動機づけのメカニズム
② 主体的学習を支える教材や授業の理論と方法（ICT の活用を含む）
③ 魅力ある授業を実現する５つの視点
当日はプレゼン資料等を配付し、講義を進める。

【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。後日提出レポートを実施予定。

生徒指導論

聖徳大学短期大学部教授　鈴木　由美

【概要】
生徒指導とは、一人ひとりの児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動である。これはすべての子どもが将来、社会においてそれぞれ自己実現できるよう、また自立できるようにサポートしていく教育上の指導を意味している。生徒指導には、治療的生徒指導・予防的生徒指導・開発的生徒指導がある。今回の授業では、予防・開発的な生徒指導を中心に学ぶ。具体的には、子どもたちが仲間意識を持ち、さらに自分で考え判断していく過程を育てるために必要な技術を学びます。
本講座では、子どもたちの心が成長できる活動を紹介する予定です。
【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、プリントを配付。グループ活動を行うので、動きやすい服装でご参加ください。
授業内レポート（試験）を実施予定。

教育相談

聖徳大学短期大学部教授　鈴木　由美

【概要】
教育相談とは、一人ひとりの幼児・児童・生徒の人格的成長と個性的適応を手助けすることを目的としている。子どもの感じ方や考え方を理解し、問題の解決と自律への援助を展開するものである。単に教員がひとりで行うものではなく、チーム学校として、幼児、児童及び生徒の将来を見据えた支援を行う必要がある。そのため、関係者が、正しく幼児、児童及び生徒の発達や特性を把握して、支援目標を共有することが大切である。今回の授業では、幼児、児童及び生徒の想いや環境に即しつつ，個々の心理的特性や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）について学ぶ。またクラス集団での子ども理解も大切と考え、グループ活動も行う予定である。
【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、プリントを配付。グループ活動を行うので、動きやすい服装でご参加ください。
授業内レポート（試験）を実施予定。

道徳・特別活動論（総合的な学習の時間を含む）

聖徳大学大学院教授　石田　清彦
聖徳大学兼任講師　染谷　由之

【概要】
学習指導要領に記載されている「道徳教育」「特別の教科道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」の目標、内容、指導計画及び内容の取扱いなどについて、基本的な考え方及び指導方法について理解することを主な目的とする。内容は、学習指導要領に示されている目標と内容、特質に基づいた指導理論を扱う。学校で即戦力として役立つ具体的・実践的な事例にも触れるとともに、参加者の経験や実践なども互いに協議し、理解を深める。

【教科書】
①文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』あかつき教育図書 149円
②文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東京書籍 305円
③文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東山書房 307円
④文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』東京書籍 363円
⑤文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』東山書房 408円
※①は、小学校教諭免許取得の方は持参。
※②③④⑤は、所属校種、実習校種に応じてご用意ください。

【連絡事項】
【共通】所属校の「総合的な学習の時間の全体計画・年間指導計画」（作成している場合）。
【栄養教諭免許対象者】所属校の「食育にかかわる全体計画・年間指導計画」（作成している場合）。
【養護教諭免許対象者】所属校の「保健指導にかかわる全体計画・年間指導計画」（作成している場合）。

食教育法Ⅰ・Ⅱ

聖徳大学准教授　佐藤 雅子

【概要】

「食教育法Ⅰ」では、食に関する指導の目標、栄養教諭の役割及び職務、学習指導要領における食に関する指導の位置付け、各教科・特別活動等との関わり等について理解する。また、食育基本法、学校給食の意義、食生活に関する歴史的及び文化的事項、児童生徒の生活や栄養・健康状態の実態等を理解し、食に関する指導における栄養教諭に期待される役割や課題等について考える。

「食教育法Ⅱ」では、「食教育法Ⅰ」で学習した栄養教諭の役割及び職務を踏まえ、児童生徒の実態および課題に対応した食に関する指導のあり方について実践例を用いて学ぶ。また、学習指導案の構成について理解し、食生活に関する歴史的及び文化的事項等の指導を想定した授業設計及び模擬授業を行う。授業設計を振り返り、よりよい食に関する指導の方法について改善の視点と課題を捉える。

【教科書】

①文部科学省『食に関する指導の手引―第二次改訂版―（平成 31 年 3 月）』東山書房 1,320 円
②文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　家庭編』東京書籍　172 円
③文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別活動編』東京書籍 306 円
④文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　技術・家庭編』開隆堂 157 円
⑤文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別活動編』東山書房 425 円
⑥文部科学省『特別支援学校幼稚部要領 小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年告示）』海文堂出版 484 円
※①は全員ご用意ください。②～⑥は所属校種、実習校種に応じて可能であればご用意ください。
ただし、②～⑥は、インターネットでも閲覧可能です。

【連絡事項】

・「食教育法Ⅰ」は、授業内レポート（試験）、「食教育法Ⅱ」は、後日提出レポートを実施予定。
・教科書の①は、大学売店でも購入可能です。
・スマートフォンをお持ちの方はご持参ください。ＱＲコード等を読み取り、意見交流を行う予定です。

障害者教育論　　聖徳大学大学院准教授　北畑　彩子

【概要】
特別支援教育の特徴と課題について、歴史、理念、制度、実態、国際動向の観点から理解を深めることを目的とする。授業内容は、(1) 特別支援教育の歴史、理念、制度、実態の観点から、特別支援教育の全体像を把握する。(2) 国際動向を踏まえ、日本の特別支援教育の特徴と課題について理解を深める。授業は、講義・演習形式により実施する。評価は、後日提出レポートにより行う。評価の観点は、上記目的に照らして、授業内容を踏まえ自分の考えを具体的に説明できているかによる。

【教科書】
聖徳大学特別支援教育研究室編『改訂 3 版 一人ひとりのニーズに応える保育と教育―みんなで進める特別支援―』聖徳大学出版会 1,760 円（旧版をお持ちの方はそれでも可）

【連絡事項】
後日提出レポートを実施予定。

ＬＤ等教育総論　※中心となる領域は重複・発達領域　　聖徳大学大学院教授　腰川　一惠

【概要】
幼稚園、こども園や保育の場、小・中学校の通常学級、通級指導教室、高等学校において発達障害である学習障害（LD)、注意欠陥多動性障害（ADHD)、自閉症スペクトラム障害（ASD）の幼児・児童・生徒（LD 等障害者）に対する合理的配慮が欠かせない。本講座では、発達障害の診断基準を確認し、映像等も参考にしながら発達障害に関する脳科学での知見にも触れながら心理特性、支援方法について学びを深めたい。また、具体的なアセスメントや支援のあり方について、事例を検討してさらに理解を深めるとともに、LD 等障害者の幼児・児童・生徒に対する教育課程及び指導法の実際についても学んでいく。

【連絡事項】
教科書は使用せず、当日、資料を配付。授業内レポート（試験）を実施予定。

栄養教育実習

聖徳大学専任講師　佐藤 雅子

【概要】

栄養教育実習の事前指導では、実習の意義や目的、心構え、勤務のあり方等について確認し、教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高める。また、食に関する指導の学習指導案の作成方法や授業の観察、補助などの教育指導の関わり方について確認を行う。教育実習では、実習校の学校経営方針、教育活動等の特色、教職員の職務を理解し、学習活動の観察、補助、学級担任等と協力した授業実践等を行う。児童生徒との適切な関わり方を実践を通じて学ぶ。事後指導では、教育実習で得られた知識と経験を振り返り、レポートにまとめるとともに、実習報告会にて発表を行い、栄養教諭として必要な資質・能力等、今後の成果と課題を省察する。

【教科書】

①文部科学省『食に関する指導の手引―第二次改訂版―（平成 31 年 3 月）』東山書房 1,320 円
②文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　家庭編』東京書籍 172 円
③文部科学省『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別活動編』東京書籍 306 円
④文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　技術・家庭編』開隆堂 157 円
⑤文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別活動編』東山書房 425 円
⑥文部科学省『特別支援学校幼稚部要領 小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年告示）』海文堂出版 484 円
※①は全員ご用意ください。②～⑥は所属校種、実習校種に応じて可能であればご用意ください。
ただし、②～⑥は、インターネットでも閲覧可能です。

【連絡事項】

・事前に送付される手引き等をよく読み、当日ご持参ください。
・実習終了後は、実習ノートおよびレポートを提出し、事後指導（実習報告会）にご参加ください。
・栄養教育実習は、原則５日間連続した実習で行ってください。
　実習中は所属校との兼務はしないようお願いします。
※教科書の①をお持ちでない方は、8/12(火)は大学売店が休業のため、各自でご用意ください。